

発電所だより

8月号

平成24年8月発行 東北電力株式会社女川原子力発電所総務部広報グループ 女川町塚浜字前田1 電話0225-53-3111 原子力の情報をホームページで公開しています。 <http://www.tohoku-epco.co.jp>

《平成24年度上期非常災害対策訓練を実施しました》

7月24日、福島第一原子力発電所の事故を踏まえた安全対策の有効性を確認することなどを目的に、平成24年度上期非常災害対策訓練を実施しました。

宮城県沖でマグニチュード9.0の地震が発生。防潮堤を越える高さ18メートルの津波が襲来し、全ての交流電源が喪失したとの想定のもと、発電所員と協力会社社員あわせて約150人が訓練に参加しました。

女川原子力発電所では、今後も安全対策を着実に進めるとともに、工夫を重ねながら様々な訓練を継続して実施することにより、発電所の安全性をよりいっそう高めてまいります。

【訓練内容の一部】

電源車を用いた電源確保訓練

原子炉を安全に「止める」「冷やす」ためには、様々な装置を動かすための電源が重要です。

電源車により、原子炉や使用済燃料プールへ注水するために必要なポンプや計測制御装置、原子炉格納容器ベント機能などに必要な電力を供給します。



代替注水車を用いた水源確保訓練

原子炉や使用済燃料プールを安定した状態に保つためには、原子炉等の水位を維持することが重要となります。

消防車や代替注水車（ポンプ車）を使って純水タンクなどから復水貯蔵タンクに給水することにより、原子炉等の水位を維持するために必要な水源を確保します。



シミュレーターによる運転訓練

中央制御室を模したシミュレーターにより、様々な状況を想定した運転操作訓練を定期的に行っています。

海水冷却系の機能や全ての交流電源が失われた中でも、原子炉を安全に冷温停止させる操作を的確に実施できるよう運転技能の向上に努めています。



《固体廃棄物貯蔵所の増設工事を着工しました》

7月26日、固体廃棄物貯蔵所の増設工事について、基礎工事を開始し着工しました。

女川原子力発電所における固体廃棄物貯蔵所*の増設については、経済産業大臣に原子炉設置変更許可を申請し、平成24年3月27日に許可をいただくとともに、5月8日に宮城県、女川町、石巻市より安全協定に基づく事前了解をいただいています。

本工事は、これまでの廃棄物発生量の実績から、今後の固体廃棄物貯蔵所における廃棄物保管量の推移を評価した結果、平成26年度には既設施設の保管容量に達する見込みであることから、200リットルドラム缶、約30,000本相当の保管容量を有する既設施設の隣に、保管容量約25,000本相当の施設を増設するものです。

今後は、平成26年1月の竣工に向け安全第一に工事を進めてまいります。

*発電所敷地内にあり、定期検査などで発生する布、紙、ゴム手袋、保温材などの低レベル放射性廃棄物を詰めたドラム缶を保管する施設



▲固体廃棄物貯蔵所増設予定地



▲7月26日には工事関係者約20人が出席し、安全祈願祭が執り行われました

《女川原子力発電所の状況について》

東北地方太平洋沖地震により、女川原子力発電所の全号機は設計どおりに自動停止し、安定した状態で安全に停止しています。現在、定期検査を実施し、設備点検、復旧作業等を進めています。

現在実施している定期検査の6月分のうち、トラブルに該当しない軽度な事象として、3号機において、チャンネルボックスの上部に欠損を発見いたしました。

地震および津波による女川原子力発電所の主要設備への軽微な被害については、6月中に新たに4件が復旧し、計61件のうち51件の対応が完了しています。

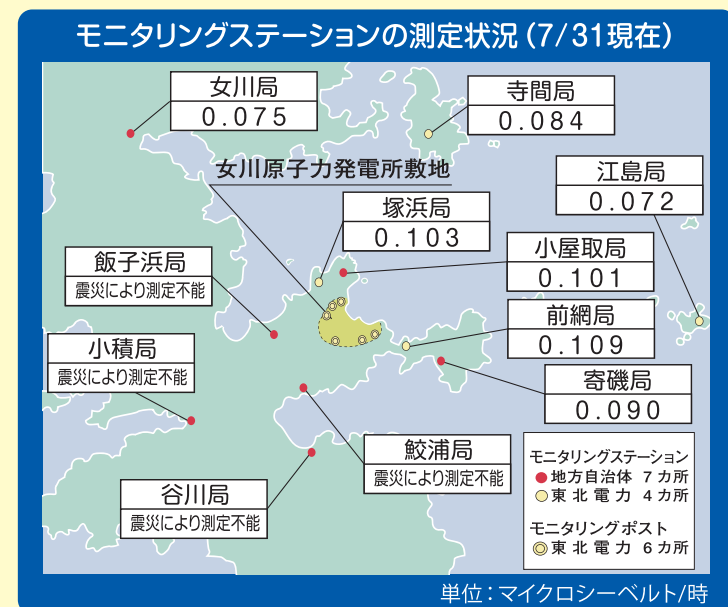
【発電所の運転状況（7月末現在）】

号機	運転状況	主な動き
1号機	定期検査中	平成23年9月10日より第20回定期検査を実施しています
2号機	定期検査中	平成22年11月6日より第11回定期検査を実施しています
3号機	定期検査中	平成23年9月10日より第7回定期検査を実施しています

《女川原子力発電所周辺の放射線》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社のホームページで公開しています。

現在の測定値は、東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い、震災前よりも若干高い値を示していますが、最大で0.085マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



モニタリングポストの最小値と最大値

年	日	値
平成23年	3月11日	0.027~0.064
	3月13日	1.8~21※3
平成24年	2月1日	0.068~0.099
	3月1日	0.060~0.094
	4月1日	0.063~0.098
	5月1日	0.062~0.090
	6月1日	0.060~0.088
	7月1日	0.059~0.086
	7月31日	0.060~0.085

単位：マイクロシーベルト/時

※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日の値、至近6カ月の値を掲載しています。

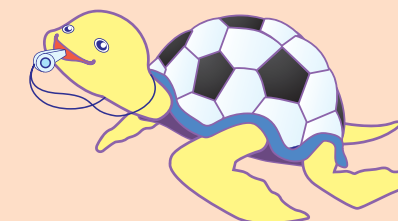
※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて空気中の放射性物質の濃度や気象データを測定しています。

※3 21マイクロシーベルト/時が測定されたのは約10分間です。

《第11回 東北電力図画コンクール 作品募集中 (8/31まで)》

テーマ 想像の海の生きものたち

「海にいたらいいな」と思う生き物を描こう！



【締切】

8月31日（金）

【対象】

小学生以下のみなさん

【表彰】

最優秀賞／1名、優秀賞／7名、各審査委員特別賞／9名、奨励賞／20名
※ご応募いただいた全員にオリジナル記念品を贈呈いたします。

【用紙】

A4（210mm×297mm）の画用紙に描いてください。

注意事項

- 一人1作品の応募とし、未発表作品に限ります。
- 絵の具、クレパス、色鉛筆、油彩、貼り絵など、なんでも可。
- 貝殻などの立体物を貼り付けたり、コピー、切り抜き、パソコンによる編集等の作品は選考対象外になります。
- 応募された作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。応募作品の返却はいたしません。

《お問い合わせ・応募先》

女川原子力PRセンター内「東北電力図画コンクール」事務局
〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123
TEL/0225-53-3410
開館時間/9:30~16:30（8月20日（月）は休館）